



バングラデシュ

バングラデシュにおける歯科技工普及拠点構築事業

コンソーシアム名	バングラデシュにおける歯科技工普及拠点構築コンソーシアム
代表団体	株式会社モリタ
参加団体	北海道大学大学院歯学研究院
協力団体	（一社）アジア・デンタル・フォーラム、サッポロ・デンタル・カレッジ（SDC）、（株）デンタルソフト

事業の背景

- バングラデシュには、現在、国立と私立合わせて30の歯学部があり、毎年約1,500名の歯科医師を輩出
- 人口約1億6,000万人、経済発展（経済成長率約8%超）を遂げつつある国家であることから、歯科医療に関する将来的な需要は大きい
- 独立以来の親日国家であり、大学をはじめとして日本への留学経験を持つ歯科医師が多く、日本の歯科医療は広く理解されている
- 歯科技工士や歯科衛生士については、養成機関がなく国家資格・制度も確立されていない
- 歯科補綴物の需要が高いが、歯科医師が技工所（個人企業）に製作を発注しており、技工技術、技工物の精度は高いとは言い難い

実施相手国への裨益

- 歯科医療従事者の歯科技工技術を向上させることにより、バングラデシュ国民の口腔内の補綴物環境改善に寄与する
- 将来的には、歯科技工士の国家資格整備、歯科技工士養成制度の確立に寄与し、新たな職域の開拓に貢献する
- 日本の歯科医療は高度な教育や高品質な製品、最先端の医療技術を用いることにより術者や患者に安心・安全を提供することから、バングラデシュ内に日本式歯科医療を浸透させ、バングラデシュ国民のQOL向上に貢献する

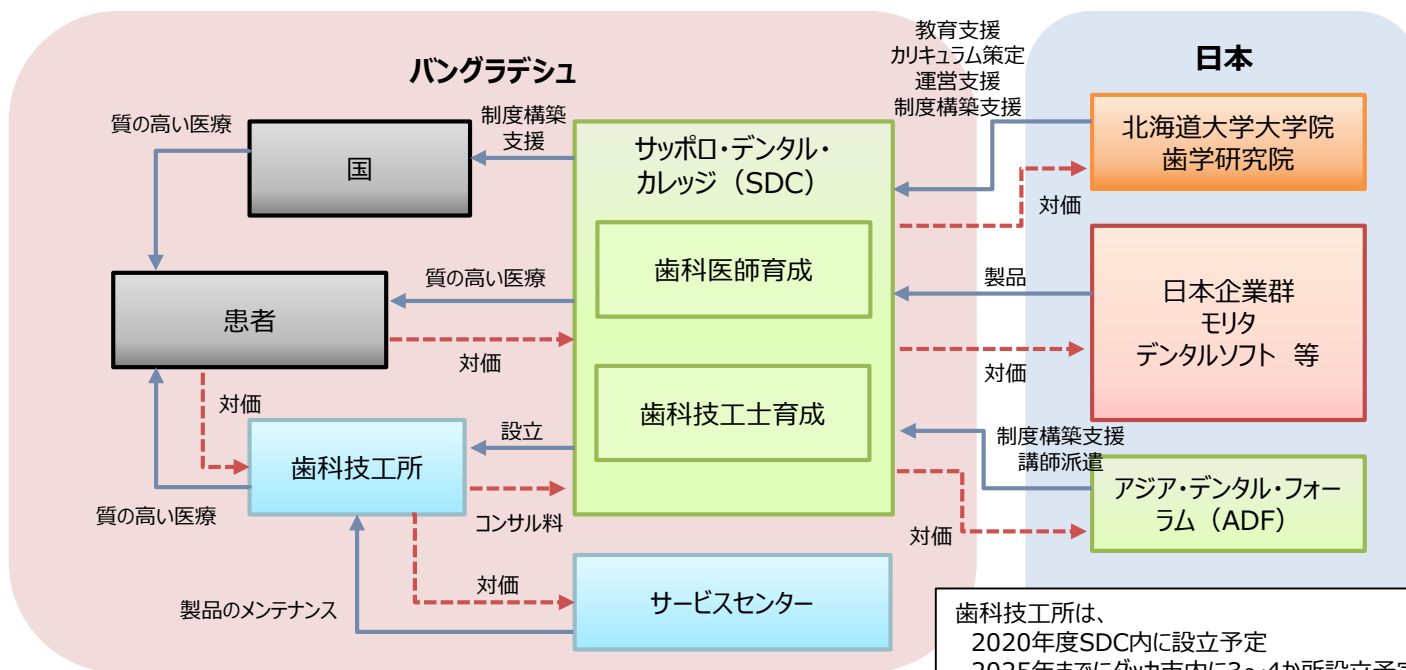
事業の最終の目標・ゴール

- 日本への留学経験のある歯科医療従事者を中心として設立された現地私立大学のトップ校であるサッポロ・デンタル・カレッジ（以下、SDC）に日本の歯科技工の普及を図る拠点を形成することにより、バングラデシュ国内に日本式の歯科技工を定着させ、歯科技工という新たな市場の創出を実現する
- 上記の新市場創出に伴う、将来的な日本製の歯科技工関連機器ならびに材料の販売促進、製品の点検・修理業務等のメンテナンスサービスの提供等により、収益獲得を目指す

本補助事業での取組・実施内容

- 現地歯科医療の現状・課題調査：今後の事業戦略立案のため、 Bangladesh国内の歯科医療の現状等について調査を行う
- 歯科技工普及拠点設立（歯科技工所）：SDC内に拠点設立し、本拠点を足掛かりに日本式歯科技工の普及を図る
- 人材育成：歯科技工普及拠点の運営を担う人材を育成する。セミナーを通して日本製品の理解を深め、セミナー修了生が、SDC内の歯科技工所で実際に技工物の製作を開始できるように教育を提供する
- 歯科技工士教育制度構築のための関係機関への働きかけ・啓蒙活動：歯科技工士制度構築のため関係者へ働きかけを行う

事業スキーム



歯科技工所は、
 2020年度SDC内に設立予定
 2025年までにダッカ市内に3~4か所設立予定
 サービスセンターは2022年以降に設立予定
 ※入国制限等が解消されなかった場合、設立時期は変更となります

【図の凡例】

1. 矢印

- (solid blue) : ヒト・モノ・サービス・情報の流れ
- (dashed red) : お金の流れ

2. ボックス

- (orange) : 代表団体又はコンソーシアム
- (blue) : 拠点施設
- (green) : 協力団体
- (grey) : その他